

令和5年1月24日

昭和四日市石油(株) 環境安全課長殿、操油課長殿
出光興産(株) 安全品質管理課殿
陸運安全協力会 幹事各位

昭和四日市石油(株)四日市製油所
陸運安全協力会



1 月度 幹事会 (会議録)

1. 日 時 令和5年1月18日(木) 9:00～
2. 場 所 昭和四日市石油 塩浜クラブ
3. 出席者 18名(敬称略)

昭四 : 森重環境安全部長、福間製造一部長、西川操油課長、南川操油課長代理
木場陸上操油係長、杉本陸上操油係長代理、平野安全管理推進者
幹事・事務局(敬称略)

昭永工業(岩野、伊藤)

上野輸送(山田、梶川)、日本通運(森) 暁興産(金森)、昭豊運輸(福田)

ニヤクコーポレーション(千田)、池畑運送(佐藤)、日本石油輸送(馬上)

事務局(新堂)

4. 議事

議事に先立ち、出席者の自己紹介が行われ、続いて陸運会長、森重部長、福間部長、よりご挨拶があった。

【陸運 岩野会長】

本年も皆様のお力を借りまして、陸上出荷における安全荷役を推進してまいりますので本年も宜しくお願いします。

【森重環境安全部長】

少し時間がたってしまいましたが、新年あけましておめでとうございます。

環境安全部の森重です。今後よろしくお願ひします。

昨年の12月15日製油所に【非常事態宣言】が出されました。昨年人身災害や製品の品質に係るトラブルがあり11月以降は運転に係るトラブルが多発しています。

対応の基本は、【基本を守る】 【基本を守らせる】 【Stop Look】 を実行することです。

【基本を守る】: 個人がルールを守って仕事をする

【基本を守らせる】: 仲間にもルールを守らせる

【Stop Look】: 仕事・作業が上手く行かない時、立ち止まって皆で考える習慣づけが大切

ローリーの陸上出荷関係では、12月2件の漏油関係のトラブルがありました。1件は、A重油の積込でオーバーフロー防止が作動した時に、ハッチ周辺に油が飛散したトラブルです。2件目は、アスファルトの積込中に、ローディングアームを移動するとき積込レバーを抑えて動かしたために少量がローリー上に飛散したものです。幸にも2件とも初期対応が良かったので大事は至りませんでした。このようなトラブルの可能性を常に頭において緊張感を持って作業を続けることが大切であると考えています。

【非常事態宣言】の収束の要件ですが、所長からは以下の項目が提示されています。

- ① 人身無災害が100日継続すること (3月10日頃の見込み)

- ② 計画外停止している装置が再稼働すること（2月下旬の見込）
- ③ 官庁関係で事故・トラブル関係の最終報告の提出（現状ほぼ完了）
- ④ 近隣自治会（塩浜連合自治会）への説明と理解をえること
- ⑤ 基本を守り、守らせる職場の実現（タチの悪いトラブルを起こさない）

所長からは、コロナ禍で協力会社とのコミュニケーションも取りにくくなってはいるが、今後積極的にコミュニケーションを取り合うように努力することを指示されています。日頃からの【気づき】や【要望】等を製油所に伝えて頂き改善と共に取り組んでまいりましょう。今後ともよろしくお祈いします。

【福間製造一部長】

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

森重部長からもお話がありました。現在一部の装置が停止しています。原油処理はMaxで燃料油関係の出荷は計画通りにできていますが、LPGは3か月ほど出荷が出来ない期間があり、【一部の特殊品】については、現状出荷が出来ていません。停止している装置を除いては、計画通りに稼働できているのでこの状態をキープしていくように努めているところです。

今年もコロナ禍での業務遂行になりますが、無事故・無災害で終わられるようにご協力をお願いします。

4.1 月次パトロール・事業結果報告（資料省略）

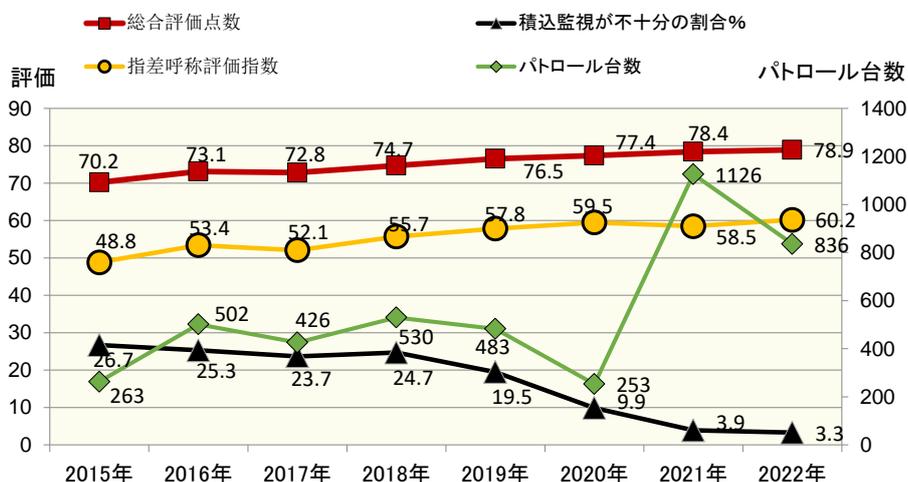
事務局より令和4年11月と12月までのパトロール・事業結果について報告があった。

4.2 令和4年パトロールの評価と課題（添付資料）

令和4年のパトロール結果のまとめと今後課題について会長より報告があった。

- ・ パネル中心の監視は、2016年以降少しずつ改善し、2022年では3.3%と改善が進んだ。
- ・ 指差呼称は、2015年以降少しずつ改善し、2022年は指数60.2に改善している。
- ・ パトロール全体評価では、2022年平均値としては78.9になった。

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
パトロール台数	263	502	426	530	483	253	1126	836
総合評価点数	70.2	73.1	72.8	74.7	76.5	77.4	78.4	78.9
積込監視が不十分の割合%	26.7	25.3	23.7	24.7	19.5	9.9	3.9	3.3
指差呼称評価指数	48.8	53.4	52.1	55.7	57.8	59.5	58.5	60.2



4.3 令和5年度の主要事業の日程確認

令和5年度の行事日程について以下の確認をおこなった。

(1) 陸運の予定

臨時幹事会 (2/16) 令和5年度 活動方針案、役員案、予算案
 昭四表彰推薦案
 無災害表彰案
 特別表彰推薦依頼

安全スローガン募集 募集期間 (2/17~3/8)
 1次審査 (3/13~14) 各自5点に絞り事務局へ報告
 2次審査 (3/16 幹事会で決定)

3月幹事会 (3/16) 総会議案書、スローガン審査
 会計監査 (3/24)
 議案書原稿確定 (3/31)
 原稿印刷会社へ (4/5) 製本議案書受領 (4/12)
 総会準備 (4/5~) 表彰状ほか
 第30回定期総会 (4/20)
 パトロール 可能であれば集合パトロールで実施を予定
 指差呼称強化週間 (5/中旬、10/中旬) 昭四殿にてご計画を頂きます
 運行管理者会議 (10/中旬) 秋の指差呼称強化週間に合わせて昭四殿開催計画

(2) 連絡協予定

職長・安全衛生責任者教育 (2/15~16、5/後半、8/後半) 5月追加開催
 中間研修講演会 (行事が廃止されました)
 連絡協総会 (6/22)
 KYT (1/31、7/、10/)
 特別研修講演会 (11/中旬)
 優良施設見学会 (11/24(金)~11/25(土))

(3) 陸運役員のコビナート連絡協議会行事への参加分担

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
中間研修講演会	行事廃止	行事廃止	行事廃止	小松	昭永工業	上野輸送
				志賀	森	昭永工業
総会	山田	中止	中止	中止	白木	上野輸送
	花井				志賀	日本通運
11月講演会	梶川	千田	中止	河合	小松	伊藤
	暁興産:金森	暁興産:伊藤		暁興産:伊藤	暁興産:伊藤	日本石油輸送
優良施設見学会	森	中止	中止	中止	河合	小松
11月最終金土	河合				小松	森

(会長は全行事に参加する)

(4) 2023年第30回 陸運安全協力会定期総会の分担
 司会 森 幹事

議長	河合幹事
経過および決算報告	山田副会長
監査報告	馬上会計監事
新年度方針および予算案説明	新会長
総会後の意見交換会の司会	森 幹事

4.4 令和5年度 事業計画（案）について

令和5年度 事業計画案について、会長より説明があり、案は了承された。

(ア) 事業計画の基本方針

四日市労働基準監督署管内における令和4年の業種別災害発生状況の道路貨物運送業では、12月末集計で休業4日以上災害がXXX件発生しています。事故の型分類では、転倒YYY件、墜落・転落がZZZ件、動作の反動・無理な動作XXX件、巻き込まれ・はさまれYY件、切れ・こすれYY件、飛来・落下ZZ件、激突されYY件、交通事故VV件となっています。

昭四殿陸上出荷設備では、オーバーフロー関連3件のトラブルが発生しています。トラブル、災害は輸送時よりも積込、荷卸し時に多く発生しています。

すべての関係者の安全意識の高揚を図り、法令・ルールを順守するとともに、指差呼称の実施により基本作業を確実にやり、製品の積込、輸送、荷卸し時の事故・労働災害を防止し、安全荷役を推進していきます。

(イ) 重点目標

- (1) 基本作業実践による労働災害防止、荷役事故防止
- (2) 法令・ルールの遵守
- (3) 教育による安全意識の高揚
- (4) 心と体の健康管理

重点目標及び具体的な取り組み

重点目標		具体的な取り組み
(1)	作業手順順守による労働災害防止、荷役事故防止	人身事故、品質事故、物損事故、オーバーフローおよびローディングアーム差し間違い等の作業ミスを防止するため、基本作業(YY ページ参照)を指差呼称の実施により確実に実行する。 適正な運行管理により過労運転による交通事故を防止する。
(2)	法令・ルールの遵守	運行管理者による指導および毎月のパトロールによる構内基本ルールの遵守状況の確認と指導により法令・ルール順守の徹底を図り、安全荷役を推進する。 ① 構内も道交法遵守する。 制限速度30km/h 以下、積み場付近は最徐行踏み切りでの一時停止と安全確認(タンク車優先) ② 静電気防止服および保護具の着用。 ③ 構内設備および機器類を丁寧に扱う。 ④ 過積載の防止
(3)	教育による安全意識の高揚	陸運安全協会の会員組織率を向上し、昭四殿による運行管理者会議・教育や協会を通じた事故・トラブル情報の提供により会員各社の乗務員への情報の共有化を図り、類似事故、トラブルの再発を図る。

(4)	心と体の健康管理	健康診断を完全受診するとともに健康管理手帳(日本トラック協会編)を有効活用し個人レベルでの健康管理を行う。 運行管理者は、関連法規を遵守し過労運転の防止を図る。
-----	----------	---

4.5 連絡事項、その他

① パトロールの実施方法について（会長より）

コロナ禍で分散パトロールを続けてきたが、本日久しぶりに集合パトロールが出来ました。分散方式と集合方式にはそれぞれメリットとデメリットがあるので両者を組み合わせて有効なパトロールが出来るように工夫していきます。

(ア)集合パトロール

- ◇ 相互のコミュニケーションを図れる。
- ◇ コロナ感染のリスクは分散方式より高い。
- ◇ ローリーが少ないとパトロール者が手持ち無沙汰になる。

(イ)分散パトロール

- ◇ 各自が都合の良い日時でパトロールが出来る。
- ◇ ランダムな日時でパトロールを実施するので全体像の評価がより正確になる。
- ◇ 対面での相互のコミュニケーションはほとんどとれない。

② 出光愛知からのローリー受け入れ（西川課長より）

本年5月ころ出光愛知定期修理時に3日間程度出光愛知からのローリーを受け入れることとなります。普段昭四には入構していないローリーが入構・積込しますので、事前の教育なども実施してトラブルがないように致します。

③ 出荷設備関連の説明（木場係長より）

(ア)2022年の設備改善

- ◇ 2021年にローディングアームの差し間違いを軽故障から重故障に変更後、2022年には、積込終了後15秒のタイマーを設けて尺切れが起きないようにF4システムを変更して対応しました。
- ◇ 受け缶の滞油処理：受け缶の油をハッチに戻すと品質トラブルが発生する可能性もあるので、各ポイントの後方に受け缶の油を切り捨てる油受けを設置しました。受け缶の油は、油受けに切り捨てるように指導しています。

(イ)2023年の変更関係

◇ 伝票発行システム

現状は、昭四独自の伝票を発行していますが、2025年には出光と同じ伝票に変更される計画があります。本年度は、伝票変更に伴う問題点などを抽出する作業を進めます。

◇ BL車の受領書

本年1月16日からは、BL車の受領書は、積込後ローリーを待機場場に止めて徒歩でセンター窓口に行って伝票を受領して、受領証にサインしてもらうように変更しています。

(ウ)割付パネルの油種表示変更の件（福間部長より）

安全協力会より、パネルの油種表示が紛らわしい（RG：レギュラーガソリン、PG：ハイオクガソリン）ので変更の要望がされていました。今回予算措置（予備費）をとって改造を行うことになりました。

どのような表示が良いのか、安全協力会から希望する案を提示して頂きたい。
今回の変更では、油種名は漢字、カタカナ交じりでも表記が可能です。昭四から別途
表記できる文字種類・文字数の制約などを提示します。
本件については、陸運安全協力会幹事で協議して昭四殿に案をご提示することになり
ました。

(エ) ローディングアーム油種間違いのペナルティーの件（岩野会長より）

ローディングアームの油種間違いのペナルティーは、3回目になってペナルティーが
発動されるまで、持越しでリセットがありません。車運転免許の違反点数のように例
えば1年で点数がリセットされるように変更は出来ないでしょうか。

昭四殿：現状2回目間違いの乗務員が2～3名います。また、1日で3台のローリーが
油種間違いしている会社もあります。ローリー乗務員の生活もあるし、配送
乗務員の手配に支障があっても困るので、なるべくペナルティーを発動しな
いように昨年6月からはペナルティーの発動条件を緩和しています。

ペナルティーを無くしても油種間違いは増えないとの確証がなければ、全く
ペナルティーなしには出来ませんが、現状でもペナルティーの発動時には課
長とよく相談して、乗務員の状況も確認の上、ペナルティーの内容を低減し
たりして発動しています。

現状はペナルティーを無くしても大丈夫なレベルではないと考えられるの
で当面継続してきます。

安全協力会：現状多い月は4～5件油種間違いが発生しているので、更に低減してペナ
ルティーなしでも大丈夫と思われるレベルになりましたら、改めてリセット
の条件緩和等をお願いすることに致します。

(オ) ローリー車両用の通行バーについて

安全協力会：ローリー関係の通行バーの追加設置の見通しについて安全協力会より質問
がありました。をお聞かせ下さい。

昭四殿：今後、センターと1号道路合流までの間と1号道路の資材倉庫付近に追加で
通行制御バーを設置する予定です。3月ころ予算化が出来る見込みです。

(カ) パトロール時間帯について（事務局より）

パトロール時間帯で本日のように7時15分からパトロールすると最近ローリー台数
が少ない。一方10時半頃には2トリップ目で比較的ローリーが多いので、パトロール
時間帯を変更するなど対応が必要ではないか。

陸運会長：10時半頃は、台数が多い反面、積込会社が偏ってデーターに偏りが出来る
可能性があるのでは、メリットデメリットをよく見極めて時間設定を行うよ
うにします。

(キ) LPC 重油のオーバーフロー防止弁について（操油課）

LPC 重油のローディングアームにオーバーフロー防止弁が設置されました。旧型のロ
ーリー（ハッチのネックが短いタイプや空間容積が少ないタイプ）では、積込満了前
にオーバーフロー防止弁が作動することがあるので、この場合は、施設係員を呼んで
立ち会いの下で積込みを再開して下さい。

以上